

第1回おおさかスマートエネルギー協議会 事業者・家庭部門会議

議事概要

1 日時：令和2年8月31日（月）14時30分～17時

2 場所：夢つながり未来館（ゆいぴあ）・佐井寺配水場

3 出席者：

【府民団体等】

大阪府生活協同組合連合会、なにわの消費者団体連絡会、（一財）大阪府みどり公社

【エネルギー供給事業者】

関西電力（株）、大阪ガス（株）

【市町村】

大阪市、堺市、柏原市

【オブザーバー】

経済産業省近畿経済産業局、環境省近畿地方環境事務所

【関係団体等】

大阪広域水道企業団、府内市上水道所管部局（大阪市、堺市、豊中市、吹田市、高槻市、茨木市、八尾市、泉佐野市、富田林市、寝屋川市、大東市、柏原市、東大阪市）

【ファシリテーター】

（有）ひのでやエコライフ研究所 代表取締役 鈴木 靖文

4 概要および意見等

①おおさかエネルギー地産地消推進プランについて

○概要

- ・大阪府から、おおさかエネルギー地産地消推進プランの概要、上水道施設における小水力発電導入に向けた取組み等について説明した。

②上水道施設における小水力発電の設置例について

<市町村による設置例（大阪市）>

○概要

- ・大阪市水道局から、咲洲配水場の小水力発電設備について、設備概要、現場施工状況、補助金申請等について紹介いただいた。

○意見・質問等

- ・同期発電機を入れているのは災害等による停電時を考えて仕様で指定したのか。

⇒仕様で指定はしたが、構造がシンプルであることなどから選定したものであって、災害を意識はしていない。

・配水池が地下にあるので送水時に動力が必要になると思うが、地下につくった理由は何か。

⇒市内に配水施設は 12 か所、その内配水池を有するものは 10 か所ある。昔からあるものは土地を確保してから設置しているため地上につくられている。新たに増やしている施設は、土地の確保が困難であるほか、応急給水体制の確立を目的として、避難場所となる都市公園の地下に設置している。

<市町村による設置例（堺市）>

○概要

・堺市上下水道局から、小水力発電の取組について、桃山台配水場の設備概要や経済効果等を紹介いただいた。

○意見・質問等

・設置後の平成 24 年から FIT 認定を受けているが、全量売電でなく、余剰売電で申請か。

⇒以前より余剰売電しており、既存の余剰発電分のみで申請、認定を受けている。

<民間事業者への場所貸しによる設置例（吹田市）>

○概要

・吹田市水道部から、吹田市の省エネの取組みや、佐井寺配水場のマイクロ水力発電所について、設備導入の経緯、設備導入の条件等について紹介いただいた。

<民間事業者への場所貸しによる設置例（富田林市）>

○概要

・富田林市上下水道部から、富田林市水道事業ビジョン、場所貸しスキームの概要、上原減圧水槽の概要等について紹介いただいた。

○意見・質問等

・デメリットとして運転管理に影響があるとのことであるが、どのようなことが大変なのか。

⇒特に大変なことはまだ生じていないが、あえて言えば、停電時に発電システムを止めなければならず流量の変化等に対応しなければならないことなどが想定される。

③その他

<国の補助金の紹介>

・大阪府から、小水力発電設備導入に関する補助金の紹介をした。

<府庁舎における電力調達等>

- ・大阪府から、府有施設における電力調達の状況、府内市町村の状況、国及び他の自治体の再生可能エネルギー電力調達の状況等を紹介した。

④現地見学

<佐井寺配水場に導入されたマイクロ水力発電設備の見学>

○概要

- ・吹田市及び（株）DK-Power から、佐井寺配水場に設置したマイクロ水力発電設備について説明いただいた。

以上